

# 人形劇 稲むらの火

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)原作・中井常蔵作「稲むらの火」から新しく書き下ろした人形劇です。「稲むらの火」は、1854年安政南海地震津波のときの実話に基づく、庄屋が自分の田の刈り取ったばかりの貴重な稲を燃やして津波の襲来を村人に伝え、皆を救ったという物語で、戦前の小学校国語読本で取り上げられ、防災教育の名作として知られています。

新しく創作された人形劇「稲むらの火」は、この庄屋が稲むらに火をつけて村人を高台に集めるというメインテーマに、米をつくる里方の民と漁をする浜方の民、そして子供達が津波災害から復興に立ち上がる物語として、展開しています。

### 主な登場人物

- 左から
- しま(村人・浜方、ちよの母)
  - ちよ(浜方の子、しまの娘)
  - 安彦(浜方・里方)
  - 次郎(浜方の子)
  - しろ(村の愛犬)
  - 梧陵(庄屋)
  - とき(ばあさん・浜方)
  - 正太(里方の子)
  - 新作(片足不自由な青年)



## 稲むらの火と濱口梧陵 (1820年から1885年)

安政地震津波の襲来時、稲むら(稲束を積み重ねたもの)に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して多くの命を救いました。この実話をもとにしたのが「稲むらの火」です。梧陵はその後も被災民救済と復旧に尽力したばかりか、100年後の津波に備えるため巨額の私財を投じ、高さ5m、根幅20m、長さ600mの大堤防を築きました。この大工事に村人を雇用することによって、津波で荒廃した広村は奇跡の復興を遂げました。広村堤防は1938年(昭和13年)、国の史跡指定され、毎年11月5日には100年余りの歴史がある「津波祭」が開催され、梧陵の偉業を称えています。(稲むらの火の館パンフレットより)



### 笠原 英男

NPO法人人形劇プロジェクト「稲むらの火」代表理事 / 災害ボランティアコーディネーター 静岡県協議会 会長

2011年に起きた「東日本大震災」の被災地南三陸町に継続して3年余り20数回訪れて、いまだ復興したとは言えない現地を見まわり続けています。親しくなった南三陸町の漁師さんの苦闘を見聞きして、津波は多くの人々の生活・職場・環境だけではなく心をも破壊してしまうことを学びました。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が書いた「生き神様」別名「稲むらの火」の故事を、日本中の海辺の町に人形劇を通じ伝えてゆくことの大切さを改めて確認しました。



### 八木 邦雄

NPO法人人形劇プロジェクト稲むらの火 副代表理事

『つなみてこわい!』『高いところへにげなくちゃだめだよ』公演が終わり、子どもが母親に語りかけている姿を見るとき、防災人形劇を続けていて良かったと感じます。3.11を契機に世の中の津波の認識が大きく変わり、この人形劇のついても考えさせられました。しかし、これからは、3・11を知らない子ども達が私達の人形劇を観劇します。私達も世の中の変化を把握しながら、NPO稲むらの火の活動を続けてまいります。



### 滑川 伸一

ヤマサ醤油(株)庶務課長

百六十年ほど前に弊社第七代目当主濱口梧陵が大津波の時に人々を救った昔話が「稲むらの火」の人形劇を通じて今再びこのように世の中に紹介され、それが人の道を説くものであれ、防災を啓発するものであれ、現代の人々の記憶に残り、何らかのお役に立つことになれば我々ヤマサ社員としましても大変光栄なことです。

### 【当日スケジュール】

- 10:00 / オープニング(ないふるホール開場・展示コーナー)
- 10:15 / オープニングセレモニー(ないふるホール)
- 10:30~11:20 / なまず博士と人形劇「稲むらの火」上演(ないふるホール)
- 11:20~11:30 / 人形とこどもたちの交流わいわいタイム(ないふるホール)
- 11:30~12:10 / 非常食を食べる体験コーナー(3階会議室)
- 12:10~13:10 / 人形劇・紙芝居ミニステージオープニング(ホワイエ)
- 13:30~15:00 / 「稲むらの火」井戸端会議(ないふるホール)

### 【活動歴】

- 03年 6月 / 「稲むらの火」プロジェクトを立ち上げ(県内17の人形劇団、20人)
- 04年 1月 / 初演(静岡県地震防災センター)
- 05年 1月 / 国連防災世界会議での公演(神戸)
  - 7月 / 内閣府ホームページに活動紹介が掲載される。
  - アジア8カ国・9カ国言語に絵本などに翻訳される(アジア防災センターによる)
- 07年 8月 / 国際惑星地球年の日本の実行委員会ホームページに活動が掲載される。
  - http://www.gsj.jp/iype/do/out/inamura.html
- 08年12月 / 国連国際防災戦略「民間企業による防災優良事例集2008」に、「人形劇稲むらの火を用いた防災教育」で、損保ジャパンが掲載される。
- 09年 1月 / アジア防災センター「2009優良事例集」に「人形劇プロジェクトの活動と広がり」として、損保ジャパンの取り組みが掲載される。

### 【受賞歴】

- 05年11月 / 企業メセナ協議会 メセナアワード2005にて損保ジャパンが人形劇稲むらの火で「文化庁長官賞」を受賞。
- 06年 3月 / 消防庁防災まちづくり大賞消防科学総合センター理事長賞を、NPO法人「人形劇プロジェクト稲むらの火」が受賞。
- 10年 3月 / 国際惑星地球年「大矢暁記念特別賞」受賞(事務局個人)
  - 事由:人形劇プロジェクト「稲むらの火」をはじめとする防災教育から地域の減災活動に至る幅広い社会貢献活動は、まさにIYPEのサブタイトル「地球科学を社会へ」を体現するもの。

### 過去の公演を見た方々からの声

津波というものを身近に感じているので怖かったです。日頃の防災意識を高めておきたいと思いました。

おもわず涙が出てしまいました。感動しました。

人形劇とはいえ、実際に見ると(津波)おそろしさを実感しました。

人形を使うことにより、小さな子にも伝わりやすく、観ているこども達の様子が、表情がとてもよかったです。

人形を使い、その津波の恐ろしさや勇気を伝えることの必然性をひしひしと感じました。

人形劇という形で、こどもたちの心に大変通じ合うもの(こころあたたまる思い)を与えてくれ、現在風化しつつある人々のふれあいの大切さをせつに感じました。

### 会場案内

## 静岡県地震防災センター

静岡市葵区駒形5丁目9-1 TEL/054-251-7100 FAX/054-251-7300



### 〈アクセス方法〉

バス(しずてつジャストライン)のご案内

- ▶ 西部循環駒形回り線「JR静岡駅前(11番)」
  - 「駒形五丁目」バス停下車、進行方向へ交差点右折徒歩2分
- ▶ 中部国道線・丸子線・丸子小坂線・牧ヶ谷線・東新田下川原線「静岡駅前(7番)」
  - 「本通十丁目」バス停下車、進行方向へ交差点左折徒歩5分

東名高速道路からのご案内

- ▶ 東名静岡インターで出て「インター通り」を北進、国道1号との交差点を右折、2つ目の信号「清開町」交差点を左折、「しあわせ通り」に入り、2つ目の信号を過ぎて左側
- ▶ 駐車場は大型4台、普通車10台駐車可能
- ※ 県庁またはJR静岡駅より徒歩約25分(約2km)です。